

11月9日～15日は
秋の火災予防運動 期間です！！



回覧



消防団

瑞穂町消防団だより

令和5年10月
第20号

発行:消防団広報誌編集委員

令和5年度瑞穂町消防団入退団式

4月2日(日)スカイホール小ホールにて、瑞穂町消防団入退団式が挙行されました。各分団総勢100名及び退団者代表5名と、ご家族が出席されました。

杉浦裕之町長より高橋一幸団長が第21代瑞穂町消防団長に任命され、高橋団長より団員への任命があり、瑞穂町消防団170名の新体制が始まりました。

式典では、長年にわたって町の消防団活動にご尽力された退団者と、ご家族に心から敬意を表し、感謝状の贈呈が行われました。

終わりに、来賓、団員の出席者全員で舞台からエンタランスまでの長い列を作り、花道を通る退団者へ感謝の気持ちを伝えました。

これから新体制となった瑞穂町消防団で、改めて町の安全・安心に寄与していきたいと強く思いました。

今後とも訓練や出初式等の行事が多くありますので、地域の方々にはご理解、ご協力をいただくとともに、ぜひ多くの方々のご参加やご観覧をしていただきたいと思います。

(担当 本部)



教育・規律訓練

4月16日(日)元狭山コミュニティセンターで教育・規律訓練を行いました。新入団員は初めての訓練となり、消防団活動における基礎となる敬礼や基本動作を訓練しました。

訓練の前半は、福生消防署瑞穂出張所の井上 修所長より、火災時における体制についての講義がありました。実際に火災が起こったらどのようにして連絡が来て出動まで至るのか等の説明がありました。

災害については、「どんなに良い活動ができたとしても、受傷者が出てしまったらその活動は失敗です」という言葉が印象に残りました。

訓練後半は、団歴ごとに会場・内容を分けて規律訓練を行いました。

3期以上の団員については室内外における物品授与の訓練を行い、その他の団員は、消防団員として基礎となる敬礼など規律について福生消防署員の方から指導をしていただきました。

今回の訓練で学んだことを今後の消防団活動に生かし、安全・安心のまちづくりに貢献したいと思います。

(担当 5分団)



ポンプ性能点検

5月13日(土)第4分団の詰所にて、各分団のポンプ車を対象に、ポンプ性能点検が実施されました。ポンプ性能点検は、ポンプ車に搭載されているポンプやサイレン等の車両設備が、火災発生時や災害現場での消火活動に正常に作動するよう毎年実施されています。ポンプ車は普通乗用車と同様、安全に走行するための車検を行います。それに加え、災害現場での消火活動をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助や警戒巡視で必要になってくる機械設備の点検を行います。この2つの点検を行うことで、ポンプ車としての性能を十分に発揮し、消防団員が安全かつ迅速に活動することができます。

点検当日は、ポンプ車の製造元のエンジニアによる細やかなチェックと、使用時の安全確保や運用についても指導を受けます。こうした点検のもと、訓練された消防団員が使用することで、確かな性能を発揮します。

いつ火災等の災害が発生しても現場で即応できるよう、これからも訓練等を重ねて対応力向上に努めていきます。

(担当 1分団)



みずほ園消防演習

6月15日(木) 特別養護老人ホームみずほ園にて、地震発生とその後の建物火災を想定した消防演習を実施しました。

みずほ園では毎年、消防演習を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止や規模縮小により、消防団の参加は4年ぶりとなりました。

この演習には、みずほ園自衛消防隊、栗原町町内会、瑞学園、福生消防署、瑞穂町消防団本部・第3分団、第4分団が参加し、午後6時、震度6弱の強い地震が発生、みずほ園自衛消防隊、栗原町町内会員、瑞学園職員により負傷者の救助、搬送が迅速に行われ、その後、火災発生の通報により到着した福生消防署、瑞穂町消防団本部、第3分団、第4分団がみずほ園自衛消防隊と共に一斉放水を行いました。

特別養護老人ホームには多数の要支援・要介護の高齢者がいるため、みずほ園自衛消防隊や地域住民の方々との連携が重要になります。そのため、今回の演習では各関係機関や地域住民の方々とは一体となった連携活動を確認することができた演習になりました。

今後も、地域住民の方々の安全・安心を守るため、日々精進してまいります。

(担当 3分団)



第9回瑞穂町ポンプ操法審査会

7月30日(日) 第2町営グラウンドにて、第29回瑞穂町消防団ポンプ操法審査会が開催されました。2年前の前回大会はコロナ禍で中止になり、4年ぶりの開催となりました。

この審査会は、消防団員が、消防用機械器具の取り扱い及び操作の基本を身につけ、火災防衛の万全を期することを目的に行われています。各分団から2隊(合計10隊)が編成され、操作の正確さやスピードを競い合います。各隊、約3カ月間の長期に亘って訓練を重ねていきました。

大会結果は、次の通りです。

・優勝 第2分団 ・準優勝 第3分団

優勝した第2分団は東京都大会(10月14日)、また準優勝の第3分団は西多摩大会(9月17日)に出場しました。

夜間の訓練等のご理解、ご協力ありがとうございました。

(担当 2分団)



瑞穂町総合防災訓練

9月3日（日）、瑞穂町総合防災訓練が実施されました。災害が起きた場合、災害情報の収集、被害状況の把握、避難所の開設、住民の避難誘導、けが人の応急救護など、行う活動は多岐にわたります。

防災訓練では、いざというときに混乱しないため、実践的な訓練を行いました。

災害は、予期できない被害をもたらします。日ごろから災害にあった場合を想定し、皆さんが住んでいる地域でも、災害時に危険が想定される場所はないか、また、避難することになった場合の経路は確保できるか、避難の際に持っていく物は何かなど、準備や対策などの備えを行うことが非常に大切です。災害が起きた時にできる行動は限られていますので、いざというときにスムーズに行動できるように備えておきましょう。

消防団としても発災後の被害を軽減できるように、様々な訓練を実施し、備えていきます。

（担当 4分団）

避難参集



テントの設営



マンホールトイレの設営



東京都功労者表彰受賞

瑞穂町消防団は、地域消防の発展と防災意識の高揚に尽力し、特に優れた業績があると認められ、東京都功労者表彰を受賞しました。

東京都では都民の生活と文化の向上に特に功労のあった方々を表彰しており、この度、瑞穂町消防団の功績が認められました。

10月2日（月）東京都庁第一本庁舎五階大会議場で行われた表彰式では、小池百合子東京都知事から高橋一幸団長へ表彰旗と賞状の授与が行われました。

式典後、高橋団長が、杉浦裕之町長へ受賞の報告に町長室を訪問しました。



広報誌編集委員

本部	浦野 純	副団長・岩永泰樹	副団長
一分団	児玉洋平	部長・清水久央	部長
二分団	榎本竜也	部長・山田太一	部長
三分団	尾作真一	部長・猪俣良次	部長
四分団	濱本賢吾	部長・鳥海茂身	部長
五分団	関根大介	部長・田中寿幸	部長

消防団事務局（役場 安全・安心課内）

☎ 042（557）7610

QRコード



メールアドレス
mizuho.saigai
@mpme.jp

災害情報メール配信
町では町民へ災害や火災が発生した時にメールの配信を行っています。左のQRコードを読み取るかメールアドレスでご登録をして下さい。

西多摩地区消防大会

令和5年9月17日(日) 明星大学青梅キャンパスにて第34回西多摩地区消防大会が開催されました。大会は西多摩地区8市町村の各消防団から代表隊が出場し、小型動力ポンプの部5隊と自動車ポンプの部8隊により消防操法を行い日頃の訓練成果を競いました。

第3分団は、瑞穂町の代表として出場し、残念ながら入賞することはできませんでしたが、選手一人ひとりが全力を出し、悔いの残らない消防操法を披露することができました。



指揮者：金ヶ江翔大 1番員：布施隆之 2番員：川嶋優椰
3番員：内野翔太 4番員：古川一仁

西多摩地区消防大会結果	優勝	福生市消防団
	準優勝	羽村市消防団
	第3位	青梅市消防団



第3分団は5月から操法訓練を開始し、7月の町の大会では、準優勝という結果を残し、西多摩大会まで更に訓練を積み重ねました。約5カ月もの間、選手だけでなく分団長を中心にした選手を支える団員も操法に真剣に向き合った結果、分団としての結束力や絆を深めることができました。また、地域住民の皆様をはじめ、事務局である安全・安心課、団員の家族や職場、OBやその他関係者の方々には、長期間にわたり、多大なご支援をいただき、分団一同感謝しております。

今後は、操法大会を通じて得た知識や技術を地域に還元できるよう、消防団活動に取り組んで参りますので、引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



応援ありがとう
ございました！

東京都消防操法大会 第二分団 準優勝

令和5年10月14日（土）、東京消防庁消防学校（渋谷区）で、第51回東京都消防操法大会が開催されました。

この大会は各地区からの代表消防団が出場して行われます。（北多摩5団 南多摩1団 西多摩2団 島しょ1団）

今回、瑞穂町消防団は、西多摩地区の代表として、町のポンプ操法審査会で優勝した第2分団が出場しました。

火点に見立てた標的を倒すまでの、迅速な行動、確実な動作が重点的に審査されます。

第2分団は、町の大会を終えた後も、約3カ月にわたって厳しい訓練を重ね、準優勝することができました。

訓練で培った消防技術を、地域の安全・安心のために生かしていきたいと思えます。長い間ご支援してくださった、ご家族、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

大会結果 優勝 大島町消防団
準優勝 瑞穂町消防団
第3位 三鷹市消防団・武蔵村山市消防団



指揮者：長澤 豊 1番員：福嶋朋哉 2番員：吉野廣英
3番員：三浦颯太 4番員：會田安孝

